



》 充電式電池は危険ごみで出しましょう

充電式電池とは

近年、充電式電池はその利便性の良さから、スマートフォンやゲーム機などの小型電子機器に多く使われています。しかし、強い衝撃や過度な圧力によって発火する危険性があることから、充電式電池の分別を守らないと、収集車や処理施設で火災が発生することがあり、非常に危険です。充電式電池には右の3つのマークが表示されていて、多いのはリチウムイオン電池です。

充電式電池のリサイクルマーク



出典：経済産業省ホームページ

充電式電池の捨て方

写真のように、必ず端子部分をビニールテープ等で覆い「危険ごみ」の日に出してください。透明または半透明の袋に入れて他の危険ごみ(乾電池、スプレー缶、ライター、蛍光管、水銀式体温計)と分けてください。



充電式電池の危険性

充電式電池の分別を守らないと、写真のように製品から発火し、収集車や処理施設の事故になり非常に危険です。



火災が発生し、収集車内のごみを出して消火した様子

充電式電池が使われている製品の例と捨て方

取り外しが容易な製品



電動工具



コードレス式掃除機



電話の子機



デジタルカメラ



ロボット掃除機



携帯電話

取り外しが困難な製品



モバイルバッテリー



ワイヤレスイヤホン



電気シェーバー



加熱式たばこ



携帯型ゲーム機



ハンディファン



スマートフォン



ノートパソコン

上記の製品は、充電式電池を取り外した後、小型電子機器として市内のエコ・ステーション、環境政策課、各総合支所地域振興課のいずれかへ持ち込んでください。

また、携帯電話以外は、充電式電池を取り外した後、「金属ごみ」として家庭ごみ一時集積所に出すか処理施設へ持ち込むこともできます。

携帯電話は市内のエコ・ステーション、環境政策課、各総合支所地域振興課のいずれかへ持ち込んでください。

上記の製品は、無理に外そうとせず、小型電子機器として市内のエコ・ステーション、環境政策課、各総合支所地域振興課のいずれかへ持ち込んでください。

また、スマートフォンとノートパソコン以外は、「危険ごみ」として家庭ごみ一時集積所に出すか処理施設へ持ち込むこともできます。危険ごみ(乾電池、スプレー缶、ライター、蛍光管、水銀式体温計、充電式電池・取り外しが困難な製品)は品目ごとに袋を分けて出してください。

スマートフォンやノートパソコンは、市内のエコ・ステーション、環境政策課、各総合支所地域振興課のいずれかへ持ち込んでください。